

EIPS からの情報提供 Vol.70

○ (東京税関特集) アイスクリーム・氷菓の輸出〈9月22日〉

暦の上では季節は秋となりましたが、残暑も厳しくアイスクリームがまだまだ恋しいですね。アイスクリームや氷菓といえば日本では古くは氷室に保管した氷を貴族が楽しむといった大変貴重なものだったようですが、明治時代初めに「あいすくりん」と呼ばれるアイスクリームが販売されてからは、徐々に庶民でも楽しめるようになりました。現在では様々な味や形状があり、冷凍庫などで保存状態が保てることからいつでも楽しんで、幅広い世代に愛されています。

アイスクリーム・氷菓は、2022年の輸出数量、金額がともに過去最大となり、港別では東京港が輸出数量、金額ともに全国で1位となりました。

詳細は以下の URL をご覧ください。

[toku0508.pdf \(customs.go.jp\)](#)

○ (横浜税関特集) ココアパウダーの輸入〈9月20日〉

横浜港で多く輸入されているココアパウダーは、高温多湿の赤道に近い地域で栽培されているカカオ豆から、様々な工程を経て作られます。そして、温かい飲み物のココアとしてだけでなく、チョコレート味のアイスクリームや、チョコレート、焼き菓子の原料として利用されています。

2022年のココアパウダーの輸入数量・金額は、全国、横浜港ともに過去最高となりました。中でも横浜港は、数量では31年連続、金額では29年連続全国第1位の輸入港となっています。

今月は、好調に推移している「ココアパウダーの輸入」について特集します。

詳細は以下をご覧ください。

[202309cocoa.pdf \(customs.go.jp\)](#)